

01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
1 駅周辺・市街地の整備	A	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西自由通路が平成27年度に、西口駅前広場とBRT駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し、西口駅前広場の混雑も解消されました。	更なる賑わいづくりのため、駅西口側のステーションパークの有効活用と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。
2 公共交通機関の充実	C	少子高齢化により、地域公共交通の重要性が見直され、その重要性は見直されているものの、主要な移動手段は自家用車が多く、路線バスをはじめとした、公共交通機関の利用者は減少しています。乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をし、手段自体の継続を支援することも必要ですが、公共交通制度を見直し、より利用してもらえる、今後も持続可能な交通網を形成する必要があります。	既存の補助事業に加え、持続可能な公共交通網を形成するために、近隣自治体等と連携し、移動手段の再考と利用促進を一体的に進める必要があります。
3 道路の整備	B	幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。既存道路の改良・拡幅整備については、必要・緊急性の高い箇所から待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。	道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的な事業を推進していきます。
4 計画的な土地利用の推進	B	本市の将来像や目標、都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定し、続けて29・30年度の2箇年で石岡市立地適正化計画を策定予定です。地籍調査事業においては、年次計画通りに実施し完了しています。	マスタープランそして今後策定予定の立地適正化計画を羅針盤とし、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。
5 下水道の整備	B	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき、下水道の効率的な整備を進めています。また、下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき、計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めることができました。	下水道の効率的な整備、ストックマネジメント計画(平成30年3月策定)に基づき、計画的に下水道施設の長寿命化を進めていきます。

01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ

施策名称		総括評価	今後の方向性
6公園・緑地の整備	B	<p>公園施設の中でも最も更新の需要が見込まれる遊具施設については、平成26年度に工事を実施したため、以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は、計画に基づき、工作物などの長寿命化工事を実施しております。</p>	<p>公園の長寿命化は、公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては、引き続き募集を募り、公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。</p>
7住宅の整備	B	<p>市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき、現在計画的な改善事業が進められています。</p> <p>また、高齢者世帯、子育て世帯等、配慮すべき世帯の住居の安定のため、交通便利の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は、現在までの対象物件入居率が5～6割前後で推移しています。</p>	<p>市民が快適に安心して暮らせるためには、住宅の計画的な長寿命化や、民間住宅の効率的な活用等を通じて、暮らしやすい環境を整備することが重要であることから、今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。</p>
8地域に調和した景観の整備	B	<p>開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの、建築パトロールの実施件数は目標値を大きく上回っており、無秩序な宅地化や違反建築物の防止に関しては高い水準で成果を得ているといえ、市内における適正な土地利用については秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。</p>	<p>目標に対する高い水準を維持するためには、適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから、引き続き計画的な事業実施に努めます。</p>

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01 誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	01 駅周辺・市街地の整備
具体的取り組み例	石岡駅舎の橋上化，駅周辺のバリアフリー化

1 総括評価

A	総括評価
	石岡駅周辺整備事業の駅舎の橋上化及び東西自由通路が平成27年度に、西口駅前広場とBRT駅前広場が平成28年度に完成しました。完成により東口利用者が大幅に増加し、西口駅前広場の混雑も解消されました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	更なる賑わいづくりのため、駅西口側のステーションパークの有効活用と駅東側の鹿島鉄道跡地等を利用した面的な整備を進める必要があります。

2 主要事業の概要

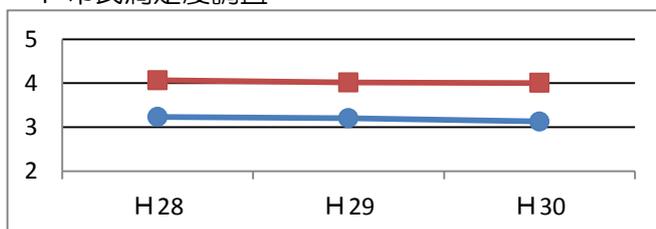
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
駐車場管理運営経費【都市計画課】	駅周辺の市営駐車場については、高齢化社会を踏まえ、ゆとりある駐車スペースの確保を図り、利用しやすい駐車場を目指します。
石岡駅周辺整備事業【都市計画課】	石岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、石岡駅橋上化、東西自由通路、西口駅前広場及びBRTターミナル等の石岡駅周辺の整備をします。
自由通路維持管理経費【都市計画課】	石岡駅を中心とした土地利用整備により、東西を行交う通路として中心市街地の活性化を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
中心市街地の居住者人口	石岡市中心市街地活性化基本計画で設定された数値目標	人	4,850 (H21)	4,880	3,904
交通バリアフリー（特定旅客施設）整備率	駅舎、自由通路のバリアフリー化率	%	20.0 (H22)	40	98.00
東西自由通路の歩行者通行量	東西自由通路の歩行者数	人	1,459 (H22)	1,750	2,428
市営駐車場利用率	一日平均利用台数	%	69.1 (H24)	70	98.2

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	3.23	4.02
平成29年度調査	3.21	4.01
平成30年度調査	3.13	3.99

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	02公共交通機関の充実
具体的取り組み例	乗合タクシーの運行，路線バスの運行補助，バス専用道路の整備促進

1 総括評価

C	総括評価
	<p>少子高齢化により，地域公共交通の重要性が見直され，その重要性は見直されているものの，主要な移動手段は自家用車が多く，路線バスをはじめとした，公共交通機関の利用者は減少しています。乗合いタクシー運行事業や代替バス運行事業に補助をし，手段自体の継続を支援することも必要ですが，公共交通制度を見直し，より利用してもらえる，今後も持続可能な交通網を形成する必要があります。</p>
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	<p>既存の補助事業に加え，持続可能な公共交通網を形成するために，近隣自治体等と連携し，移動手段の再考と利用促進を一体的に進める必要があります。</p>

2 主要事業の概要

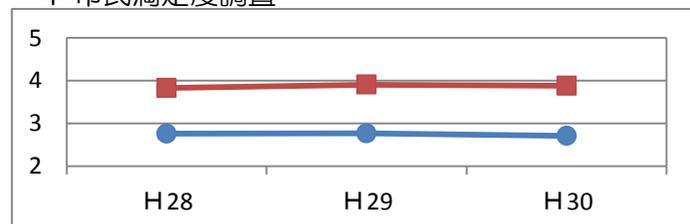
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
地域交通対策事業【都市計画課】	<p>移動制約者への移動手段の提供はできている。運行方法や利用方法を検討し，情報誌等への広報をすることで，更なる利用促進を図る必要がある。また，経費の削減を踏まえつつ，住民と協力した利用促進活動の実施と効率的な運行を一緒に実施する必要がある。これらの内容を実施するために，石岡市地域公共交通網形成計画を策定する。</p>

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
市内主要公共交通機関利用者数	1日当りの市内主要公共交通機関利用者数	人/日	7,954 (H24)	8,000	7,707

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.76	3.83
平成29年度調査	2.77	3.91
平成30年度調査	2.71	3.88

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	03道路の整備
具体的取り組み例	道路の改良，拡幅整備，維持管理，補修

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	幹線道路の整備については、既に完了した1路線を除く5路線の用地買収及び改良工事を進めています。地方道路の整備についても、事業計画に基づき、効率的・効果的に事業を進めております。 既存道路の改良・拡幅整備については、必要・緊急性の高い箇所から待避所整備を進めており、市内の狭あい道路における交通の安全性確保に向けて、限られた予算の中で効率的な事業を行っています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	道路の整備については、国や県の補助金等を活用し早期完成を目指すとともに、既存道路の改良・拡幅については、優先されるべき必要箇所を見極めながら、効率的な事業を推進していきます。

2 主要事業の概要

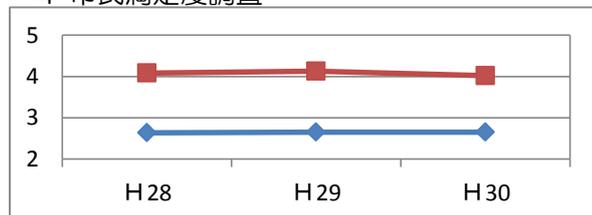
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
合併市町村幹線道路緊急整備支援事業【都市計画	現在、5路線において用地買収及び改良工事を進めており、今後も国・県補助金、合併特例債を活用して早期完成を目指します。
狭あい道路整備事業【建築住宅指導課】	本事業により、法令順守に対する住民への周知・啓発に一定の効果が期待できるため、今後も継続して取り組む。
地方道路等整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、事業計画に基づき効率的・効果的に事業を進めていく。
道路維持経費【道路建設課】	補修要望が年々増加傾向にあり、全て対応することが難しいことから、工事費の圧縮を行い、優先度の高い箇所から補修・改修を行っていく。
狭あい道路待避所整備事業【道路建設課】	限られた予算の中で、必要性緊急性の高い箇所から効率的に整備を行う。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
合併支援道路整備延長	合併支援道路整備延長（6路線）	m	0 (H22)	8,231	6,443
地方道路等の整備延長	地方道路等整備事業による道路改良延長	m	6,332 (H22)	10,650	14,027
狭あい道路補助実施延長	狭あい道路整備事業により拡幅整備した道路延長	m	369 (H22)	300	187.23
狭あい道路待避所整備箇所数	狭あい道路待避所整備事業による整備箇所数	箇所	6 (H25)	34	17

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.64	4.08
平成29年度調査	2.65	4.13
平成30年度調査	2.65	4.02

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	O1誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	O4計画的な土地利用の推進
具体的取り組み例	効率的な土地利用を誘導する取組

1 総括評価

B	総括評価
	本市の将来像や目標、都市計画にかかわる基本的な方針を定めた石岡市都市計画マスタープランを平成28年度に策定し、続けて29・30年度の2箇年で石岡市立地適正化計画を策定予定です。 地籍調査事業においては、年次計画通りに実施し完了しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	マスタープランそして今後策定予定の立地適正化計画を羅針盤とし、安心安全で快適なまちづくりと効率的な土地利用に努めてまいります。

2 主要事業の概要

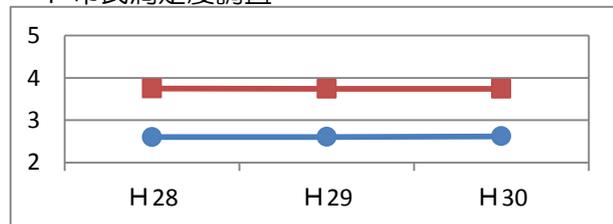
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
都市計画審議会経費【都市計画課】	都市の健全な発展と秩序ある整備を図るための都市計画法に基づく審議会であり、都市計画法、条例に基づき適正に運営していきます。
都市計画一般経費【都市計画課】	都市計画マスタープランに基づき土地利用の効率化を進めていきます。景観計画に基づき、良好な景観の保全に努めます。
地籍調査事業【地籍調査課】	年次計画に基づき、着実に事業を進めます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
市街化区域内土地利用률	市街化区域内における都市的土地利用률	%	78.7 (H22)	79	80.7
国土利用計画法の制度周知PR	国土法に基づく適正な取引促進のための市報等でのPR回数	回	1 (H22)	4	4
国土利用計画法に基づく事後届出の違反事案件数	提出期限後の届出等の違反事案件数	回	7 (H25)	2	16

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.60	3.75
平成29年度調査	2.61	3.74
平成30年度調査	2.62	3.74

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	05下水道の整備
具体的取り組み例	下水道の整備，合併浄化槽の補助

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	生活排水ベストプラン(平成27年12月策定)に基づき，下水道の効率的な整備を進めています。また，下水道施設長寿命化計画(平成24年5月策定)に基づき，計画的に施設機器類の老朽化対策(改築更新)を進めることができました。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	下水道の効率的な整備，ストックマネジメント計画(平成30年3月策定)に基づき，計画的に下水道施設の長寿命化を進めていきます。

2 主要事業の概要

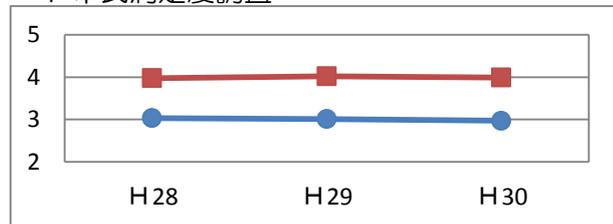
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
下水道会計（総括） 【下水道課】	現状を鑑み，整備計画を見直しを行い，管渠，マンホールポンプ等を含めた下水道施設ストックマネジメント計画等による適正な施設の維持管理，長寿命化に取り組む必要があります。
農業集落排水事業会計（総括） 【下水道課】	未接続者及び宅地内工事業者に平成30年度から新たに県で拡充した接続制度等の情報発信，未接続者への個別訪問等による接続依頼を継続し，接続向上に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
生活排水処理総合普及率	処理区域人口／行政人口	%	75.7 (H22)	80	86.8
水洗化普及率（下水道）	水洗化済人口／処理区域人口	%	77.9 (H22)	82.2	84.0
水洗化普及率（農業集落排水）	水洗化済戸数／処理区域戸数	%	56.1 (H22)	65	66.0

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	3.03	3.98
平成29年度調査	3.01	4.02
平成30年度調査	2.97	3.99

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	06公園・緑地の整備
具体的取り組み例	公園長寿命化計画に基づく維持管理，公園里親の募集

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	公園施設の中でも最も更新の需要が見込まれる遊具施設については、平成26年度に工事を実施したため、以降における満足度調査の結果が横ばいとなっていると考えられます。現在は、計画に基づき、工作物などの長寿命化工事を実施しております。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	公園の長寿命化は、公園施設長寿命化計画に基づき年次スケジュールで実施してまいります。里親やエンゼルパトロールについては、引き続き募集を募り、公園等の維持管理や防犯に努めてまいります。

2 主要事業の概要

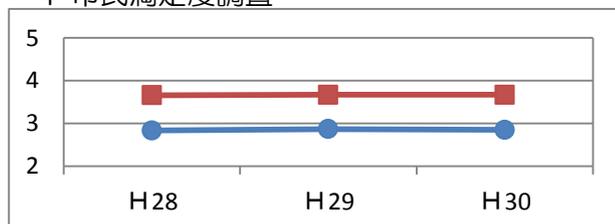
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
桜つつみ維持管理経費【まちづくり協働課】	利用者の安全と、機能保持のため計画的な補修が必要です。
公園維持管理経費【都市計画課】	公園長寿命化計画を進めながら、予防保全型維持管理への転換を積極的に図る。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
公園長寿命化計画	都市公園改修施設箇所	箇所	(H24) ⁰	26	15
公園里親制度加入団体数	公園里親制度への加入団体数	団体	(H22) ⁷	10	7

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.84	3.66
平成29年度調査	2.87	3.67
平成30年度調査	2.85	3.67

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	07住宅の整備
具体的取り組み例	市営住宅の整備・改修，木造住宅耐震改修の促進

1 総括評価

<h1>B</h1>	総括評価
	市内の市営住宅は平成21年度に策定した長寿命化計画に基づき，現在計画的な改善事業が進められています。 また，高齢者世帯，子育て世帯等，配慮すべき世帯の住居の安定のため，交通利便の高い石岡駅周辺の中心市街地に存する民間住宅を活用した家賃減額補助事業は，現在までの対象物件入居率が5～6割前後で推移しています。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	市民が快適に安心して暮らせるためには，住宅の計画的な長寿命化や，民間住宅の効率的な活用等を通じて，暮らしやすい環境を整備することが重要であることから，今後も引き続き計画的な住宅施策を推進します。

2 主要事業の概要

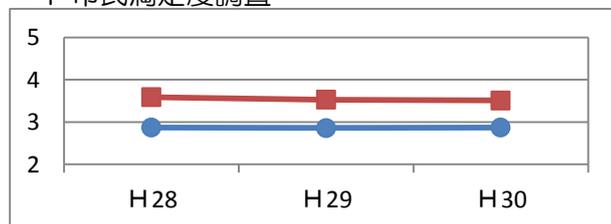
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
市営住宅長寿命化改修事業【建築住宅指導課】	長寿命化改修計画に基づき順次，改修工事を実施します。
木の住まい助成事業【建築住宅指導課】	定住人口の増加及び地域経済の活性化に一定の効果を期待できる事業であることから，事業継続が望ましいと考えます。
賃貸住宅ストック事業【建築住宅指導課】	民間賃貸住宅の活用について，市民への周知徹底を図るとともに，高齢者世帯や子育て世帯等の配慮すべき世帯の居住の安定に努めます。
住まいづくり推進事業【建築住宅指導課】	市外住民に対する事業であり，主に若年者の定住人口増加に寄与する事業と考えられるため，事業継続が望ましいと考えられます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
市営住宅長寿命化改修事業	改修棟数	棟	7 (H23)	24	2
ストック活用賃貸住宅入居世帯	制度活用により認定住宅に入居した世帯数	世帯	14 (H23)	30	16

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.87	3.59
平成29年度調査	2.86	3.53
平成30年度調査	2.87	3.51

平成30年度石岡ふるさと再生プラン施策評価シート

政策目標	01誰もが快適に暮らせる都市機能が充実したまちへ
基本施策	08地域に調和した景観の整備
具体的取り組み例	景観条例の適正な運用による良好な景観の保全，無秩序な宅地化や違反建築の防止

1 総括評価

B	総括評価
	開発許可案件における完了検査率は目標をやや下回ったものの，建築パトロールの実施件数は目標値を大きく上回っており，無秩序な宅地化や違反建築物の防止に関しては高い水準で成果を得ているといえ，市内における適正な土地利用については秩序ある良好な景観の保全に一定の成果を得ているといえます。
A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
	目標に対する高い水準を維持するためには，適切な行政指導と地道な啓発活動を必要とすることから，引き続き計画的な事業実施に努めます。

2 主要事業の概要

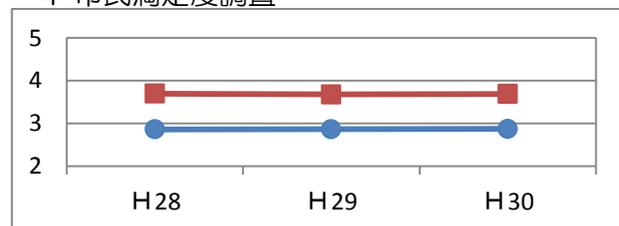
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
宅地開発指導経費【建築住宅指導課】	今後も啓発リーフレットの作成・配布や，電話・文書等による催促，現地パトロール等により，目標達成水準の維持に努めます。
建築指導事業【建築住宅指導課】	違法な建築行為の防止に一定の成果を得ており，上位目標の達成においても有効な事業であるため，引き続き適正な実施に努めます。
都市計画一般経費【都市計画課】	都市計画マスタープランに基づき土地利用の効率化を進めていきます。景観計画に基づき，良好な景観の保全に努めます。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	H29 (実績値)
建築パトロール	パトロール実施件数	件	74 (H24)	60	82
完了検査率	開発許可件数に対する完了検査の受検数	%	131 (H22)	85	74.07

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成28年度調査	2.86	3.69
平成29年度調査	2.86	3.68
平成30年度調査	2.87	3.69